



地域がん診療連携拠点病院 <川崎市立井田病院からのお知らせ>

い だ や ま

第79号 井田山

基本理念「井田病院は、自治体病院として、市民から信頼され、
市民が安心してかけられる病院づくりを目指します。」

井田病院

当院ホームページ・公式Twitterをご覧ください

井田病院 Twitter

1 健診を受けましょう

健診のお問合せ・ご予約

- 電話 044-766-2188 (代) 受付時間 平日午後1時～4時
- 窓口 (1階健診受付窓口) 受付時間 平日 午前8時30分～午後3時

特定健診は、生活習慣病の早期発見と予防をするための健診です。健康に自信のある方でも、毎年受診しましょう。

秋ごろから年度末にかけては混雑が予想されますので、早めの受診をおすすめします。

特定健診とのセットでの受診をおすすめします。

川崎市がん検診 (自己負担額あり。※70歳以上、非課税世帯、生活保護の方は無料)

特定健診・こくほの健診・後期高齢者健康診査

- ・問診
- ・身体計測 (身長、体重、腹囲)
- ・血圧
- ・血液検査 (中性脂肪、コレステロール、肝機能、血糖)
- ・尿検査 (尿糖、尿蛋白、尿潜血)

無料

項目		対象		自己負担額
胃がん検診	バリウム	40歳以上	年度に1回	2,500円
	内視鏡 (窓口予約)	50歳以上	2年度に1回	3,000円
肺がん検診		40歳以上		900円
大腸がん検診		40歳以上		700円
国民健康保険PSA検査 (男性のみ) 特定健診と同時受診		川崎市こくほの健診受診券をお持ちの50歳以上74歳以下の方		400円
子宮頸がん検診(女性のみ)		20歳以上	2年度に1回	1,000円
乳がん検診(女性のみ)横浜市も可		40歳以上	2年度に1回	1,000円
骨粗しょう症検診(女性のみ)		40・45・50・55・60・65・70歳		1,100円

特定健診は、生活習慣病のリスクがわかり、早期発見のために重要です。井田病院では他にもさまざまな検査や人間ドックが受けられますので、是非ホームページも確認してみてください。

文責：がん・総合健診センター副所長 奥

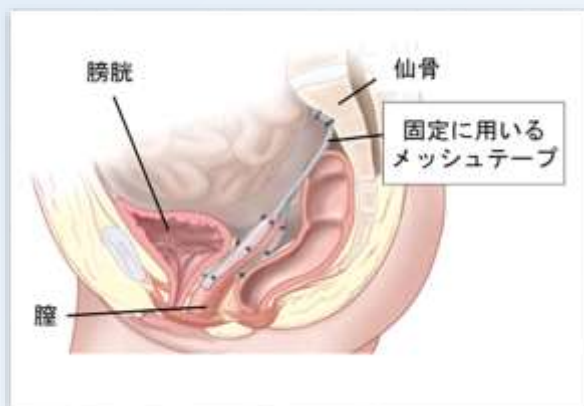


2 診療科の紹介 ～泌尿器科～

女性泌尿器科とは、女性に特有な過活動膀胱、尿失禁、骨盤臓器脱などについて診療を行う科であり、泌尿器科と産婦人科の分野にまたがった専門知識を要します。これらの疾患は中年女性の仕事や生活、心の健康にまで大きく影響を与え、日常生活を大変不便なものにしています。井田病院では、2021年から女性泌尿器科に積極的に取り組めるような体制を整えてまいりました。

尿失禁は様々なタイプがありますが、腹圧性尿失禁は咳やくしゃみをした時や重い荷物を持った時など、お腹に力がかかる動作をした際に尿漏れをきたす疾患です。加齢、出産、子宮などの骨盤内手術により、骨盤を支える筋肉などが弱くなることで起こります。治療として、症状が軽い場合は骨盤底筋訓練を行います。症状が重い場合はTVT（tension-free vaginal tape）手術などの尿道スリング手術をお勧めしてQOLの改善に努めています。

骨盤臓器脱は、妊娠、出産、閉経、骨盤内手術などにより、子宮、膣、尿道を支える骨盤の筋肉などが弱くなり、膀胱、子宮、膣、直腸が、膣の外に出てきてしまう疾患で、日本の推定患者数は約730万人以上といわれています。治療として、ペッサリー留置や手術療法を行います。



が、当院では泌尿器内視鏡科チームで培ってきた技術を活かし、ロボット支援下で行う仙骨膣固定術に積極的に取り組んでいます。膣前後壁に縫合固定したメッシュテープを仙骨前面にけん引固定する手術で、手術支援ロボットの利点を最大限活用できる術式であり合併症や再発率が少ない治療です。

今後ひとりでも多くの女性に、たくさんの笑顔を取り戻せるよう、女性泌尿器科の様々な症状を持った患者さんに対応してまいりますので、どのようなことでもご相談ください。 文責：泌尿器科 小杉

3 『入院時重症患者対応メディエーター』として活動しています！

ご家族や大切な方が突然の病気やケガで救急搬送されて、しかもそれが重症で集中治療室に入院となったら・・・とても強い不安を抱くことと思います。

入院時重症患者対応メディエーターは、入院初期から重症患者様とご家族の不安な気持ちに寄り添いながら、医療者との橋渡しをさせていただいています。

当院では2022年5月から、患者様ご家族が安心して納得して治療が受けられるように、医療者との間を丁寧につなぐ役割を担う入院時重症患者対応メディエーターを配置しています。

文責：地域医療部

看護師 白澤

医師からの病状説明に同席して、治療方針の理解や質問などのサポートをします。

延命処置などの治療をどこまで希望するのか、患者様ご自身の生活や想いを大切にして意思決定の支援をします。

説明中に聞けなかったことや分からなかったことを確認して、医療者へ伝える橋渡しをします。

少しでも不安な気持ちを和らげられるように、患者様ご家族のお話を聴かせていただきます。

4 夏場の食中毒にご用心！



食中毒とは、原因となる細菌（さいきん）やウイルス、有毒な物質がついた食べ物を食べることによって、下痢や腹痛、発熱、吐き気などの症状が出る病気のことです。食中毒の原因によって、病気の症状や食べてから病気になるまでの時間はさまざまです。時には命にもかかわるとてもこわい病気です。気温が高い季節となり、食品が傷みやすく、食中毒の危険が高まっています。この時期に起きる食中毒のほとんどは細菌が原因です。

家庭での食中毒を予防するには、食品を購入してから食べるまでの過程で、食品に細菌を「つけない」手洗い・器具の洗浄、食品に付着した細菌を「ふやさない」適切な温度で保管・速やかに食べる、食品に付着した細菌を「やっつける」加熱殺菌という

3つのことが原則となります。しかしながら、黄色ブドウ球菌が産生する毒素は熱に強く、通常の調理では活性を失うことはありません。テイクアウトやデリバリーなどは、調理してから食べるまで時間が長くなりますので、速やかに食べるようにしましょう。

文責：感染対策室 福島

5 熱中症対策をしましょう！

線状降水帯発生により豪雨や落雷、ひょう、突風など全国各地で不安定な天気が続いています。関東地方では猛暑日となる日もあり、熱中症警戒アラートが発令されています。梅雨明け後は、体が暑さに慣れていないため、熱中症が増加します。もう一度熱中症対策の確認をお願いします。

熱中症とは？ … 体液の不足で起こる障害 ・ 体温上昇で起こる障害

高齢になると誰でも暑さやのどの渇きを感じにくくなります。この暑さで発汗し、脱水から熱中症になります。また熱中症で救急搬送された高齢者は、屋外より屋内での発症が多くなっています。屋内、夜間でも熱中症に注意が必要です。

水分補給をしましょう

脱水から熱中症にならないようにテーブルや枕元に水筒やペットボトルを置き、のどが渇いていなくても時間を決めて水やお茶などの水分をとりましょう。特に寝る前と夜中トイレに起きた時、起床時はいつもより多めに水分を取って下さい。



体温調整をしましょう

体温が上がらないように適切にエアコンを使用しましょう。昼夜を問わず室温が28度以下になるように調節して下さい。電気代は値上がりしていますが命のほうが大切です。躊躇せずエアコンを使用しましょう。



緊急時は救急搬送を検討しましょう



なんとなく元気がない、ぼーっとする、脱水が疑われる時は市販の経口補水液500mlをすべて飲みましょう。症状が改善しない、水分が取れない場合は救急搬送をして下さい。

文責：看護部 クリティカルケア認定看護師 吉田

6 宮前メロンを提供しました♪

食養科では6月28日（水）に今年度第1回目となる市内産農作物の提供を行いました。今回は幻ともいわれる「宮前メロン」を提供しました。宮前メロンは昭和52年から宮前区の温室で栽培されているマスクメロンで上品な香りと甘みが特徴といわれています。生産農家も最盛期7軒、現在2軒とまさに幻のメロンです。食べ頃は収穫後1週間とのことで追熟のポイントを教わり、納品の日程を調整し、提供の日を迎えました。アンケートでは宮前メロンを初めて知った方がほとんどでしたが、「甘くておいしかった」「香りもよかった」などのご意見とともに地産地消の取り組みの継続に期待する声を多くいただきました。今後も地産地消の取り組みを継続し、おいしく安全な食事の提供に努めていきたいと思っております。文責：食養科 亀山



アンケートでは宮前メロンを初めて知った方がほとんどでしたが、「甘くておいしかった」「香りもよかった」などのご意見とともに地産地消の取り組みの継続に期待する声を多くいただきました。今後も地産地消の取り組みを継続し、おいしく安全な食事の提供に努めていきたいと思っております。文責：食養科 亀山

6 病院ボランティアさんを募集しています☆

井田病院は地域に開かれた病院づくりを目指し、平成7年から病院ボランティアの方々に様々な支援を頂いております。今までに多くの病院ボランティアの皆様、安心してご利用していただける、安らぎのある病院づくりにご尽力いただきました。しかし、令和元年に流行した新型コロナウイルス感染症の影響を受け、病院ボランティア活動も制限せざるを得なくなりました。そのような中でも、作品や植物を通して季節や社会の風を届ける園芸ボランティアさんが活動を継続し、病院を利用する方々だけではなく、新型コロナウイルス感染症で疲弊した病院職員へも心の安らぎを届けてくださったことに感謝を申し上げます。令和5年5月より新型コロナウイルス感染症が5類感染症になり、以前の生活に戻りつつある中、制限していた病院ボランティア活動を徐々に再開しています。井田病院では地域に愛され安らぎのある病院作りに向け、一緒に活動していただける病院ボランティアを募集しております。病院ボランティアは特別な資格がなくても、患者さんの役に立ちたいというお気持ちがある高校生以上の方ならどなたでもご参加できます。ぜひお気軽にお問い合わせください。



井田病院 医事課 ボランティア担当 (平日8時30分～17時 電話：044-766-2188)

7 「チョイソコかわさき」が運行を再開しました

中原区と高津区の一部地域で昨年11月から今年2月まで実証実験が行われた「チョイソコかわさき」が5月から運行を再開しています。約100か所ある停留所には井田病院も含まれており、各施設や住宅地との往来が簡単に出来るようになっています。詳しい運行範囲や利用方法は病院1階ロビーに配架しているパンフレットをご覧ください。文責：庶務課 足立



発行責任者 田中 良典
川崎市中原区井田2-27-1

編集 川崎市立井田病院 ホームページ・広報委員会
電話 044-766-2188 (代表)